

中学校第1学年 数学科学習指導案

学習指導者 丸亀市立東中学校 山本 瞳美

1 単元名 「平面図形 －3つの移動を活用してみよう－」

2 単元計画（総時数 19 時間）

- | | | | |
|------------|------|----------|--------------|
| ① 直線と図形 | 3 時間 | ② 移動と作図 | 8 時間【本時 4／8】 |
| ③ 移動と作図の利用 | 2 時間 | ④ 円とおうぎ形 | 5 時間 |
| | | ⑤ 章末問題 | 1 時間 |

3 授業の見どころ

既習の3つの移動について知識を定着させるため、話し合える環境や題材の工夫に努めた。友達と話し合うことで、新たな考え方や表現に気付き、移動に関する知識をさらに深めることができるようになりたい。また、グループで互いに問題を出し合う際には、数学的用語を用いて正確に表現させることに重点をおくとともに、次に学習する作図に関連づくように線分の長さや角度にも着目させる。

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・平行移動、回転移動、対称移動の3つの移動について理解し、説明できる。
- ・移動方法について、移動した長さや方向、回転の中心や角度、対称の軸など数学的用語を用いて説明することができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	教師の指導と支援活動
1 既習の図形の移動について確認する。 2 課題1を知る。	・平行移動、回転移動、対称移動について復習し、本時につなげる。
	<p>課題1：どのような移動をすれば色のついた三角形を☆の部分に移動することができるだろう。</p>
(1) 各自で考える。 (2) グループで互いの考えを伝え合う。 (3) 全体で確認する。 3 課題2を知る。	<ul style="list-style-type: none">・移動の名前だけでは、図形の移動を正確に伝えられないことに気付かせるために、どこに、どのように移動するかを問い合わせながら机間巡回を行う。・移動方法は1つではなく、様々な方法があることに気づかせる。
	<p>課題2：色のついた三角形を移動させる問題を自分で作ってみよう。</p>
(1) 各自分で問題を作る。 (2) グループで互いに問題を出し合う。	<ul style="list-style-type: none">・問題をつくるときの工夫を問い合わせることで、課題2においても、課題1で気付いた正確な表現が大切であることを意識できるようにする。・友達が作った問題に挑戦することで、用語の使い方や移動の角度、移動の長さなどが正しく表現できているか確認させる。・互いの問題を解く中で、自分の考えや友人の考えを聞き、評価し認め合うことで自己肯定感を高めたい。
授業づくりのポイント 正確な表現を用いて問題を作成すること、友達と問題を出し合うことで知識を深めることができることを大切にしたい。	
4 3で作った問題を全体で共有する。 5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none">・難しい問題を作った人に発表してもらい、全体でその問題に挑戦する。
	<p>振り返り：同じ場所への移動でも様々な方法があることや、次に考えたい課題について振り返る。</p>
	<p>・他の図形も紹介することで、学習が深められるようにする。</p>

(3) 評価

- ・3つの移動について理解し、説明することができた。【知・技】
- ・数学的用語を用いて移動の方法を表現することができた。【知・技】

